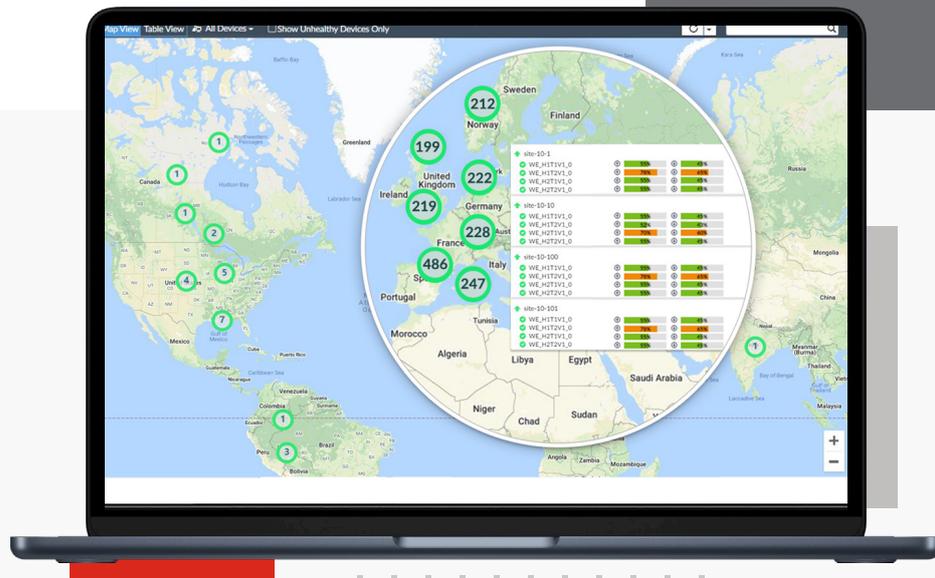


# FortiManager



## ハイライト

- ネットワークやセキュリティのポリシーを一元管理
- セキュリティコンテンツやシングネチャを一元的に配信
- 構成、導入、保守を簡素化
- 複雑さとコストの削減
- ワークフローと構成を自動化
- 顧客データを分離し、ドメインを管理
- ソフトウェア更新やセキュリティ更新を効率化し、バックアップを自動化

## 単一コンソールからオートメーションドリブンの集中デバイス管理

FortiManager は、複数のフォーティネットのデバイスを単一のコンソールからオートメーションドリブンで集中管理することが可能です。このプロセスにより、プロビジョニングの合理化と革新的な自動化ツールによって、ネットワークデバイスの完全な管理と可視化を実現します。

フォーティネット セキュリティ ファブリックとの統合により、高度なセキュリティアーキテクチャと自動化されたネットワークオペレーション機能が基盤となって、ネットワークセキュリティの保護と最適化が実現します。

## ハイライト

### 提供形態



### アプライアンス



### 仮想マシン



### クラウド

### 一元的な管理とプロビジョニング

ポリシーやオブジェクトの集中管理とプロビジョニングを合理化し、自動的なリビジョン履歴とコントロール、高度な RBAC（ルールベースのアクセス制御）機能により、スクリプトや IPS をロールに分けて管理し効率化します。

### ファブリックオートメーション

ZTP（ゼロタッチプロビジョニング）による SD ブランチ（FortiGate およびアクセスデバイス）へのデプロイメントプロセスを簡素化します。また、メタ変数を直接利用する強力なテンプレートにより、数千もの拠点へのスケーラブルなプロビジョニングが可能です。

### 監視と可視化

デバイスインベントリ、アプリケーション、SD-WAN、LAN エッジ、MEA（管理機能拡張アプリケーション）、トラフィック、パブリッククラウドなどの監視と可視化を可能にします。

## 主な機能と特長

- 数千台の FortiGate NGFW やセキュア SD-WAN のネットワークやセキュリティのポリシーを一元管理し、FortiSwitch、FortiAP、FortiExtender にも対応。FortiGate、FortiMail、FortiSandbox、および FortiClient に対するシグネチャアップデート機能を提供
- 内蔵の FortiGuard モジュールを利用して、セキュリティコンテンツやシグネチャを一元的に配信
- 大規模セキュア SD-WAN の構成、導入、保守を簡素化。また分散サイトの集中管理により、FortiExtender の無線 WAN 接続を効率化
- REST API、スクリプト、コネクタの自動化、さらにオートメーションステップ（ワークフローの自動化）を活用して、複雑さとコストを削減
- フォーティネットのファイアウォール、スイッチ、ワイヤレス製品のワークフローと構成を自動化
- ADOM を活用して顧客データを分離し、ドメインを管理することで、コンプライアンスと効率的な運用を実現
- 高可用性によってバックアップを自動化し、すべての管理対象デバイスのソフトウェア更新やセキュリティ更新を効率化

## 一元的な管理とプロビジョニング

### デバイスの構成およびプロビジョニング

FortiManager は、FortiGate、FortiExtender、FortiSwitch、FortiAP、SD-WAN など、最大 10 万台のデバイスを集中管理する豊富なツールを備えており、ネットワーク管理者の能力が拡大します。

デバイスの設定を強力なテンプレートと変数を使用してまとめて構成することで、大規模デプロイメントのためのゼロタッチプロビジョニング、インストールやアップグレードのためのファームウェアバージョンの適用、監査で必要になるポリシーのパッケージやポリシー / オブジェクトのリビジョン履歴を割り当てるためのテンプレート、さらには、管理対象 FortiGate の LAN エッジデバイスでのプロビジョニングと認証を自動化するためのファブリック認証テンプレートを準備することができます。

また、FortiManager は、拡張された SSL および証明書をサポートしており、制限付きの IPS アドミンプロファイルを使用できるため、専用の IPS ソリューション、FortiSwitch のカスタムコマンド、FortiSwitch Manager の MCLAG の構成からの移行やアップグレードが可能です。

デバイス構成のバックアップとリビジョン管理の自動化により、日々の管理タスクが容易になり、強化されたイベントログビューで変更を追跡することで、構成変更を確認し、監査やコンプライアンスに対応できます。

### セキュリティポリシーおよびオブジェクトの管理

FortiManager のポリシービューとオブジェクトビューでは、管理者はデバイスのポリシーを一元的に管理および構成することが可能で、これらにはネットワーク設定、アンチウイルスの定義、侵入防止シグネチャ、アクセスルール、ソフトウェアの更新などが含まれます。

グローバルポリシー機能により、MSSP、PaaS プロバイダーは、すべてのポリシーパッケージや選択したパッケージに対して ADOM レベルでヘッダーやフッターのポリシーを適用できます。ポリシービューとオブジェクトビューにリビジョン履歴が追加されました。変更した管理者のアカウント、変更日、サマリー、および変更メモ（変更理由を入力するための必須フィールド）が表示されるようになりました。

各ポリシーにはロック機能があり、ポリシーが変更されるとポリシールールが自動的にロックされるため、管理者はポリシーに対する変更の制御が可能になりました。また、管理者はよく使用するポリシーをポリシーブロックとしてグループ化して、別のポリシーパッケージに挿入することもできます。

IPSec、BGP、CLI、SD-WAN のルールに共通の構成の割り当てとポリシーパッケージを使用することで、セキュリティポリシーをハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境に拡張します。

### FortiManager の HA（高可用性）

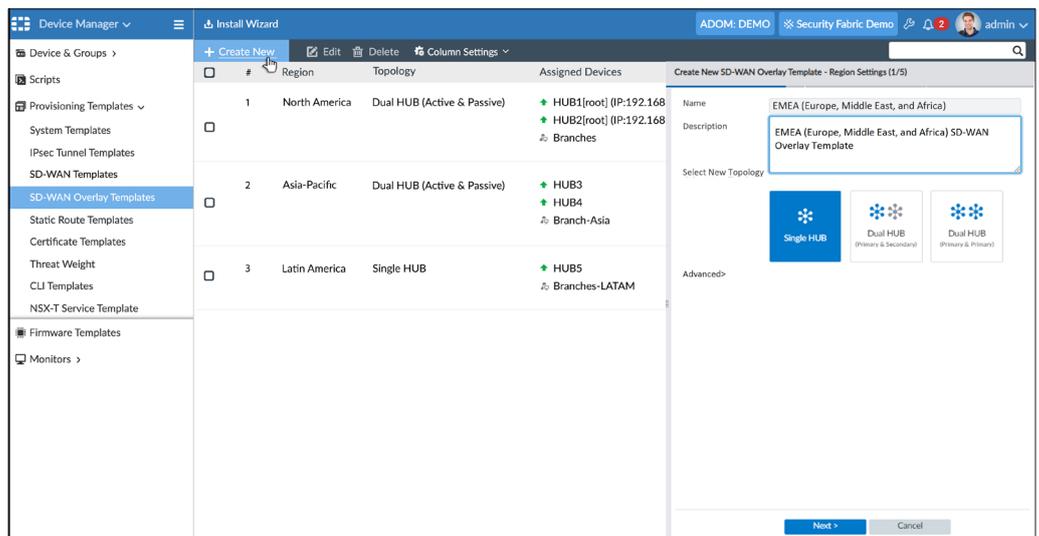
FortiManager の HA（高可用性）は、信頼性、データ保護、冗長性、運用パフォーマンスを強化することで、合意されたアップタイムと可用性の要件の達成を支援し、オプションの使用により、クラスタのメンバーごとの専用インタフェースによる管理を可能にします。動作中の FortiManager で障害が発生した場合、バックアップの FortiManager に処理が引き継がれるため、デバイスへのシームレスなアクセスとビジネスクリティカルネットワークの連続運用が実現します。バックアップはプライマリが 1 台、セカンダリが最大 4 台まで構成することができます。

## 一元的な管理とプロビジョニング（続き）

### セキュア SD-WAN

FortiManager では、大規模な環境においても、直感的なワークフローと簡素化されたプロビジョニング機能を活用し、SD-WAN のパワフルな管理が実現します。アプリケーション中心の SD-WAN ビジネスポリシーを利用し、WAN プロバイダー毎のパフォーマンスサービスレベル契約（SLA）目標に基づいてトラフィックステアリングを詳細に調整できます。

自動 SD-WAN オーバーレイプロビジョニングにより、グローバル規模での SD-WAN 構成の簡素化と高速化を実現します。デバイスブループリントを大規模 SD-WAN に活用し、CSV テンプレートのインポートとメタデータ変数の割り当てをサポートします。



セキュア SD-WAN のレポートと監視ダッシュボードを使用して、帯域幅、遅延、ジッター、パケットロスなどの指標を含む詳細なアプリケーションパフォーマンスを監視できます。

### マルチテナントとロールベースの管理

FortiManager は、デバイスやロールベースのきめ細かい管理、ゼロトラストのマルチテナント導入環境を大規模エンタープライズに提供し、階層型オブジェクトデータベースによる共通する構成の再利用を可能にすることで、複数の顧客へのサービスの提供を可能にし、ネットワークのすべてのデバイスとユーザーを明確に可視化します。

ADOM（管理ドメイン）を利用すると、独自のセキュリティポリシーや構成データベースを使用して、セキュリティ環境を独立して管理することができます。管理者は直感的な GUI を使用して、ADOM を表示、複製、管理し、ADOM に対するグローバルオブジェクト、ポリシー、セキュリティプロファイルを簡単に定義し、ヘルスチェックを利用して ADOM が常に同期されるようにできます。

制限付きのユーザーロールである IPS 管理者を、IPS 関連のオブジェクトの構成とインストールだけを実行できるユーザーに割り当てます。管理者ごとに異なる UI の背景テーマを使用することで、視覚的に関連付けることができます。

## ファブリックの自動化

### ネットワークおよびセキュリティオペレーションの可視性 (NOC / SOC)

FortiManager は NOC-SOC のワークフローに対応しており、パフォーマンスを最適に管理するネットワークチームをサポートします。セキュリティ (SOC) ワークフローとオペレーション (NOC) ワークフローの自動データ交換によって、単一の完全なワークフローが作成されるため、時間を節約できるだけでなく、インシデントレスポンスを追加してアクションを完結させることもできます。

FortiAnalyzer と統合することで可視性が大きく向上し、高度なデータの可視化と分析が可能になり、アナリストは点と点をすばやくつなげて、脅威を特定したり、管理対象デバイスの構成やセキュリティを迅速化 / 簡素化することができます。

### 自動化 / コネクタ

FortiManager から API を介して FortiGateA NGFW やフォーティネット セキュリティ ファブリックにクエリを実行することで、自動化とオーケストレーションを活用して最適化することが可能で、ネットワーク情報を積極的に収集 / 共有したり、エンドツーエンドな可視性やレスポンスを拡大することができます。

FortiManager を使用すると、REST API、スクリプト、コネクタ、FortiGate オートメーションステッチを活用して複雑さやコストを削減して、時間がかかるプロセスを自動化し、ワークロードを高速化できます。これにより、NOC や SOC のチームが管理タスクを軽減し、人材不足の問題を解決することができます。管理者は、FortiGate NGFW のプロビジョニングや新規または既存のデバイスの構成などの共通タスクを自動化することができます。

[Fortinet Developer Network \(FNDN\)](#) にご参加いただくと、自動化やカスタマイズに関する会員向け情報やハウツーコンテンツ、コミュニティ内で開発されたツール、スクリプト、サンプルコードなどを利用できるようになります。

### 強力な運用能力

オープンファブリック API を新しい統合やワークフローに使用して、ファブリックデバイスのプロビジョニングを簡素化し、自動化することで、運用効率を向上させます。

ZTNA のルールとポリシーを利用してアクセス制御を適用し、EMS コネクタで ZTNA タグやタググループを取得し、ZTNA サーバーを構成して ZTNA タグをポリシーで使用することでゼロトラスト RBAC (ルールベースアクセス制御) を適用します。

FortiSwitch の複数ポート選択構成テンプレートを利用して、ネイティブ / 許可 VLAN、セキュリティポリシー、QoS ポリシー、LLDP プロファイルを簡単に構成できるため、LAN エッジ管理が簡素化されます。

IPS ウィザードによる IPS センサーの選択や IPS テンプレートの使用が可能であるため、IPS プロファイルの迅速かつ容易な作成とインストールが実現します。管理者は、IPS シグネチャの保留モニターを使用して、深刻度、OS、アプリケーション、保留日付などのすべての保留シグネチャを一元的に表示できます。

FortiManager を、管理対象 FortiGate の管理更新サーバーとして IoT クエリデバイス識別サービスで利用することもできます。

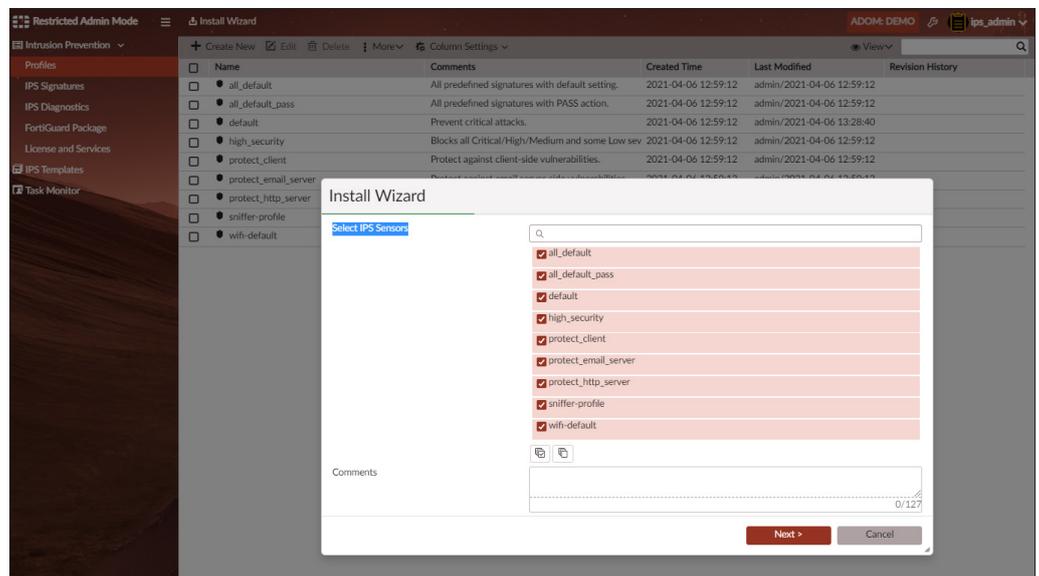
## ファブリックの自動化（続き）

### セキュリティ ファブリック / サードパーティ統合

FortiManager は、ITSM との統合によってセキュリティイベントの減災、構成変更の適用、ポリシーの更新を可能にします。また、FortiAnalyzer とのシームレスな統合により、ネットワークセキュリティイベントの綿密な検知、分析、優先順位付け、およびレポート作成の機能を提供します。

ファブリックコネクタを使用することで、vCenter、pxGrid、ClearPass、OCI、ESXi、AWS などのサードパーティベンダー製品と接続し、データの共有や交換が可能になります。

FortiManager の監査とコンプライアンスのワークフローが、ポリシーの変更のレビュー、承認、監査を可能にし、自動化プロセスによるポリシーのコンプライアンス、ポリシーのライフサイクル管理、ワークフローの強制によるリスクの軽減などが実現します。



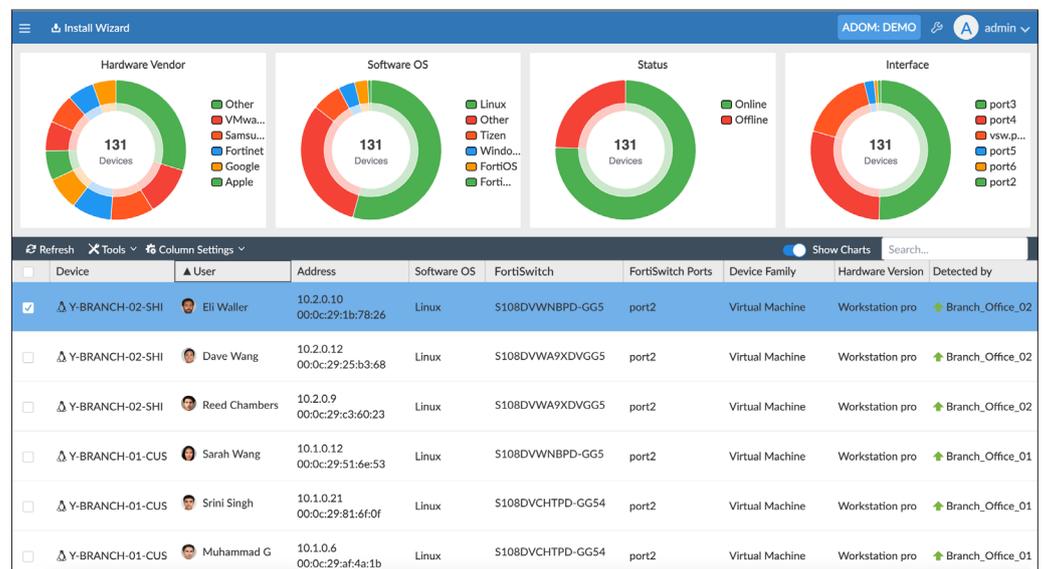
## 監視と可視化

### 詳細な可視化による管理と監視

FortiManager デバイスマネージャーを利用すると、管理者はフォーティネットの管理対象デバイス、インタフェース、スクリプト、テンプレート、自動化、ユーザー、設定などを完全に可視化して、利用および管理することができます。ダッシュボードやウィジェットはカスタマイズが可能で、ポリシーをインストール、編集、削除することも、FortiGate の状態を監視して、リソースの利用状況、DHCP のネットワークステータス、IPsec や SSL VPN、ルーティング、トラフィックシェーパーなどを確認することもできます。階層ツリーから、管理対象のデバイス、ログ用デバイス、不正なデバイスに簡単に移動することが可能で、表示をカスタマイズして、テーブルビュー、フォルダービュー、マップビューで表示できます。

ファブリックビューを使用して、セキュリティ ファブリック レーティングや FortiGate のデバイスやグループの構成を確認できます。セキュリティやネットワークの重要な統計、さらには、リアルタイムの監視やトポロジ情報へのアクセスが可能になり、ネットワークやユーザーの活動が可視化されます。FortiAnalyzer アプライアンスや仮想マシン (VM) を追加することで、強力な分析、アセット情報やアイデンティティ情報を含む高度なファブリックビュー、詳細なデータマイニング、統計分析、グラフィカルなレポート機能を実現します。

FortiManager には、フォーティネットのファイアウォール、スイッチ、アクセスポイントなどのシンプルかつ直感的な分析を可能にする多数のツールが含まれています。FortiAIOps の拡張機能、IPS アドミンのインストール済み IPS 構成の可視化や IPS 診断の監視、デバイスやユーザーの情報を表示するデバイスインベントリモニタなどの MEA にワンクリックでアクセスでき、列を選択して FortiSwitch、FortiAP や SSID の情報、FOS アセットアイデンティティセンターから収集した IoT デバイスの情報を表示することもできます。



## NOC クラウドサービス

### 管理機能拡張

管理機能拡張画面によって、セキュリティ ファブリック製品が増えた場合でも一元管理の対象として迅速に追加できます。内蔵エンジンが、FortiGuard Labs 脅威インテリジェンスから取得した、コンテナ化された MEA（管理機能拡張アプリケーション）を実行します。FortiManager の MEA では、FortiAIOps、SD-WAN、FortiPortal、FortiWLM、FortiSigConverter、FortiSOAR のモジュールにワンクリックでアクセスできます。

### ダイナミッククラウドセキュリティ

フォーティネットクラウドセキュリティおよび管理ソリューションは、PaaS ベースのデリバリオプションを備えており、クラウドベースの FortiManager から FortiGate デバイスを一元管理することができます。

FortiManager Cloud は、自動化の利用や一元的な管理機能を備えており、導入や管理が容易で、柔軟性があり、拡張も可能です。

ポータルへのシングルサインオンを利用して、フォーティネット NGFW や SD-WAN を管理できます。Cloud-init サービスが内蔵されており、管理者は KVM、AZURE、ネットワーク仮想アプライアンス (NVA) の Azure Virtual WAN のサポート、および AWS の仮想インストール用の作成済みのイメージを簡単にカスタマイズすることができます。FortiManager のクラウドベースのネットワーク管理を使用すると、フォーティネットデバイスを自動化して管理することで、FortiGate のプロビジョニングを円滑化することができます。

FortiManager-VM が Flex-VM に追加されたことで、FortiGate のフレックスライセンス管理が提供され、管理対象 FortiGate や ADOM の数をスケールアップ / スケールダウンが可能になりました。

スケールアウト / スケールインイベントが発生した場合は、パブリッククラウドの自動スケーリンググループのメンバーの構成が自動的に同期されます。自動スケーリングクラスタの可視性が向上して、自動スケーリングのステータス、クラスタタイプ、HA のステータスやモード、クラスタメンバーの Elastic IP 情報も確認できるようになりました。

---

### トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) 暗号化

FortiManager G シリーズは、暗号鍵の生成、保存、認証を TPM で実行して物理ネットワークアプライアンスを堅牢化する専用のマイクロコントローラモジュールを搭載しています。このハードウェアベースのセキュリティメカニズムが、悪意のあるソフトウェアやフィッシング攻撃からユーザーを保護します。

## FortiManager VM

FortiManager VM（仮想マシン）は、多数の仮想化プラットフォームで動作することを前提に設計された、ハードウェアアプライアンスのソフトウェアバージョンで、FortiManager アプライアンスのすべての最新機能を利用できます。フォーティネット ネットワーク セキュリティの数台から数千台までの任意の数のデバイスを一元管理でき、集中管理、コンプライアンスのベストプラクティス、ワークフローの自動化のサポートにより、高度な脅威保護を実現します。FortiManager VM は、サブスクリプションまたは永続ライセンスのどちらでも利用できます。

### FortiManager VM S シリーズ

FortiManager VM S シリーズは、FortiManager VM の新しいサブスクリプション型ライセンスモデルです。VM 製品と FortiCare Premium サポートが1つのSKUに統合されており、製品の購入、アップグレード、更新が簡素化されます。

FortiManager VM S シリーズは、10 台、100 台、1,000 台のデバイス / VDOM の管理に対応する積み上げ方式のサブスクリプションであるため、一度に複数のSKUを購入することで、必要に応じてデバイス / VDOM の数を増やすことができます。異なる単位のSKUを同時購入し、管理デバイス / VDOM の総数を増やすことも可能です。

### FortiManager VM

FortiManager VM は、積み上げ方式のライセンスモデルで提供されます。FortiManager ハードウェアアプライアンスのソフトウェア版であるこのバージョンは、多くの仮想化プラットフォームで動作するように設計されており、ご利用中の環境の拡張に伴って仮想ソリューションの柔軟な拡張が可能になります。FortiManager 仮想アプライアンスは、ネットワークの監視や維持に必要な労力を最小限に抑制すると同時に、FortiManager ハードウェアアプライアンスと同じ機能をすべて提供します。

## 技術仕様

FortiManager 仮想アプライアンス	FortiManager VM-10-UG	FortiManager VM-100-UG	FortiManager VM-1000-UG	FortiManager VM-5000-UG
<b>システム性能</b>				
管理デバイス数 / VDOM 数 (デフォルト) <sup>1, 3</sup>	+ 10	+ 100	+ 1,000	+ 5,000
ログ処理 GB / 日 <sup>2</sup>	2	5	10	25
シャーシ管理	☑	☑	☑	☑
<b>仮想マシン</b>				
サポートする ハイパーバイザー	最新のハイパーバイザーのサポートは、FortiManager の各バージョンのリリースノートをご確認ください。 <a href="https://docs.fortinet.com/product/fortimanager/">https://docs.fortinet.com/product/fortimanager/</a> にアクセスし、一番下のセクションにある「Release Notes」に進み、 「Product Integration and Support」 → 「FortiManager [version] support」 → 「Virtualization」よりご参照ください。			
仮想 CPU 数 (最小 / 最大)	4 / 無制限			
仮想 NIC 枚数 (最小 / 最大) <sup>4</sup>	1 / 12			
メモリ (最小 / 最大)	8 GB / 無制限 (64-bit の場合)			
高可用性 (HA)	○			

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に1ライセンスとしてカウントされます。

2. ログ処理 GB / 日については、積み上げ式のライセンス体系ではありません。これらの値は購入したライセンスで利用できる最大値です。

3. VM SKU は、積み上げ方式のライセンスモデルで提供され、最大 100,000 デバイス / VDOM まで対応します。

4. VM は、最大 12 の vNIC インタフェースをサポートします。6.4.3 以降を実行している場合。実際に使用可能なインタフェース数は、クラウドプラットフォームにより異なります。

## 技術仕様

FortiManager アプライアンス	FortiManager 200G	FortiManager 400G / 410G
<b>システム性能</b>		
管理デバイス数 / VDOM 数 (デフォルト) <sup>1</sup>	30	150
管理デバイス数 / VDOM 数 (最大) <sup>3</sup>	—	—
持続ログレート	50	50
ログ処理 GB / 日	2	2
<b>ハードウェア仕様</b>		
ストレージ容量	8 TB (2 × 4 TB)	32 TB (8 × 4 TB)
利用可能なストレージ (RAID 構成時)	4 TB	24 TB
RAID ストレージ管理	○ (0, 1)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)
デフォルト RAID レベル	1	50
形状	ラックマウント (1 RU)	ラックマウント (2 RU)
インタフェース	4 x RJ45 GbE	4 x GbE RJ45, 2 x SFP
管理コンソールポート	RJ45	RJ45
リムーバブル HDD	—	☑
冗長電源 (ホットスワップ対応)	☑*	☑*
トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) <sup>2</sup>	Gen2	☑
<b>サイズ</b>		
高さ x 幅 x 奥行	4.4 × 43.8 × 41.6 cm	8.8 × 44.5 × 56.5 cm
重量	10.2 kg	16 kg
<b>動作環境</b>		
AC 電源	100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
消費電力 (平均 / 最大)	90.1 W / 99 W	140 W / 182 W
放熱	337.8 BTU/h	621 BTU/h
動作温度	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C
保管温度	-25 ~ 75 °C	-20 ~ 75 °C
湿度	20 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)
エアフロー	前面 ~ 背面	前面 ~ 背面
動作高度	最高 2,250 m	最高 2,250 m
<b>準拠規格・認定</b>		
準拠規格	FCC Part 15 Class A, RCM, VCCI, CE, UL/cUL, CB	FCC Part 15 Class A, RCM, VCCI, CE, UL/cUL, CB

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に 1 ライセンスとしてカウントされます。グローバルポリシーおよび高可用性はすべてのモデルでサポートされています。

2. Gen2 とは、最初のリリース以降にアップグレードされたハードウェアを指します。

3. デバイスのアドオンライセンスがサポートされている場合。

\* オプションの冗長 AC 電源は含まれません。



FortiManager 200G



FortiManager 400G / 410G

## 技術仕様

FortiManager アプライアンス	FortiManager 1000F	FortiManager 3000G	FortiManager 3700G
<b>システム性能</b>			
管理デバイス数 / VDOM 数 (デフォルト) <sup>1</sup>	1,000	4,000	10,000
管理デバイス数 / VDOM 数 (最大) <sup>3</sup>	—	8,000	100,000
持続ログレート	50	150	150
ログ処理 GB / 日	2	10	10
<b>ハードウェア仕様</b>			
ストレージ容量	32 TB (8 × 4 TB)	64 TB (16 × 4 TB)	240 TB (60 × 4 TB) HDD + 19.2 TB (6 × 3.2 TB) NVMe SSD
利用可能なストレージ (RAID 構成時)	24 TB	56 TB	224 TB
RAID ストレージ管理	○ (0、1、1s、5、5s、6、6s、10、50、60)	○ (0、1、1s、5、5s、6、6s、10、50、60)	○ (0、1、1s、5、5s、6、6s、10、50、60)
デフォルト RAID レベル	50	50	50
形状	ラックマウント (2 RU)	ラックマウント (3 RU)	ラックマウント (4 RU)
インタフェース	2 x RJ45 10 GbE、2 x SFP+	2 x GbE RJ45、2 × 25 GbE SFP28	2 × 25 GbE SFP28、2 × 10 GbE RJ45
管理コンソールポート	DB-9	DB-9	DB-9
リムーバブル HDD	☑	☑	☑
冗長電源 (ホットスワップ対応)	☑	☑	☑
トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) <sup>2</sup>	—	—	☑
<b>サイズ</b>			
高さ × 幅 × 奥行	8.9 × 43.7 × 65.0 cm	13.2 × 44.0 × 65.0 cm	17.8 × 43.7 × 76.7 cm
重量	15.42 kg	30.15 kg	54.6 kg
<b>動作環境</b>			
AC 電源	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 127 V 以上 / 10 A、 200 ~ 240 V 以上 / 5 A Hz	2,000 W AC <sup>4</sup>
消費電力 (平均 / 最大)	192.5 W / 275 W	449 W / 541 W	850 W / 1423.4 W
放熱	920 BTU/h	1846.5 BTU/h	4858 BTU/h
動作温度	10 ~ 35 °C	0 ~ 40 °C	10 ~ 35 °C
保管温度	-40 ~ 60 °C	-20 ~ 75 °C	-40 ~ 70 °C
湿度	8 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)
エアフロー	前面 ~ 背面	前面 ~ 背面	前面 ~ 背面
動作高度	最高 2,250 m	最高 2,250 m	最高 2,250 m
<b>準拠規格・認定</b>			
準拠規格	FCC Part 15 Class A、RCM、VCCI、CE、 UL/cUL、CB	FCC Part 15 Class A、RCM、VCCI、CE、 BSMI、KC、UL/cUL、CB、GOST	FCC Part 15 Class A、RCM、VCCI、CE、 BSMI、KC、UL/cUL、CB、GOST

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に 1 ライセンスとしてカウントされます。グローバルポリシーおよび高可用性はすべてのモデルでサポートされています。

2. Gen2 とは、最初のリリース以降にアップグレードされたハードウェアを指します。

3. デバイスのアドオンライセンスがサポートされている場合。

4. 3700G は、200 V ~ 240 V の電源に接続する必要があります。



FortiManager 1000F



FortiManager 3000G



FortiManager 3700G

## オーダー情報

Product	SKU	Description
FortiManager	FMG-200G	Centralized management appliance — 4xRJ45 GE, 8 TB storage, up to 30x Fortinet devices/VDOMs.
	FMG-400G FMG-410G	Centralized management appliance — 4 x GE RJ45, 2 x SFP, 32 TB storage, up to 150 Fortinet devices/ VDOMs.
	FMG-1000F	Centralized management appliance — 2x RJ45 10G, 2x SFP+ slots, 32 TB storage, up to 1000 Fortinet devices/VDOMs.
	FMG-3000G	Centralized management appliance — 2 x GbE RJ45 ports, 2x 25GbE SFP28, 64 TB storage, dual power supplies, manages up to 4000 Fortinet devices/ VDOMs.
	FMG-3700G	Centralized management appliance — 2x 25GE SFP28, 2x 10GE RJ-45, 240 TB + 19.2 TB storage, dual power supplies, manages up to 10 000 Fortinet devices/VDOMs.
FortiManager-VM Subscription License with Support	FC1-10-FMGVS-258-01-DD	Subscription license for 10 devices/VDOMs managed by FortiManager VM S-series, including FortiCare Premium.
	FC2-10-FMGVS-258-01-DD	Subscription license for 100 devices/VDOMs managed by FortiManager VM S-series, including FortiCare Premium.
	FC3-10-FMGVS-258-01-DD	Subscription license for 1000 devices/VDOMs managed by FortiManager VM S-series, including FortiCare Premium.
FortiManager-VM	FMG-VM-10-UG	Upgrade license for adding 10 Fortinet devices/VDOMs; allows for total of 2 GB/Day of Logs.
	FMG-VM-100-UG	Upgrade license for adding 100 Fortinet devices/VDOMs; allows for total of 5 GB/Day of Logs.
	FMG-VM-1000-UG	Upgrade license for adding 1,000 Fortinet devices/VDOMs; allows for total of 10 GB/Day of Logs.
	FMG-VM-5000-UG	Upgrade license for adding 5,000 Fortinet devices/VDOMs; allows for total of 25 GB/Day of Logs.
FortiManager-Cloud	FC0-10-MVCLD-227-01-DD	Subscription for 3 devices/VDOMs managed by FortiManager Cloud. FortiCare Premium support included.
	FC1-10-MVCLD-227-01-DD	Subscription for 10 devices/VDOMs managed by FortiManager Cloud. FortiCare Premium support included.
	FC2-10-MVCLD-227-01-DD	Subscription for 100 devices/VDOMs managed by FortiManager Cloud. FortiCare Premium Support included.
	FC3-10-MVCLD-227-01-DD	Subscription for 1000 devices/VDOMs managed by FortiManager Cloud. FortiCare Premium support included.
FortiManager Device Upgrade License	FMG-DEV-100-UG	FortiManager device upgrade license for adding 100 Fortinet devices/VDOMs. (3000 series and above - hardware only).

注：

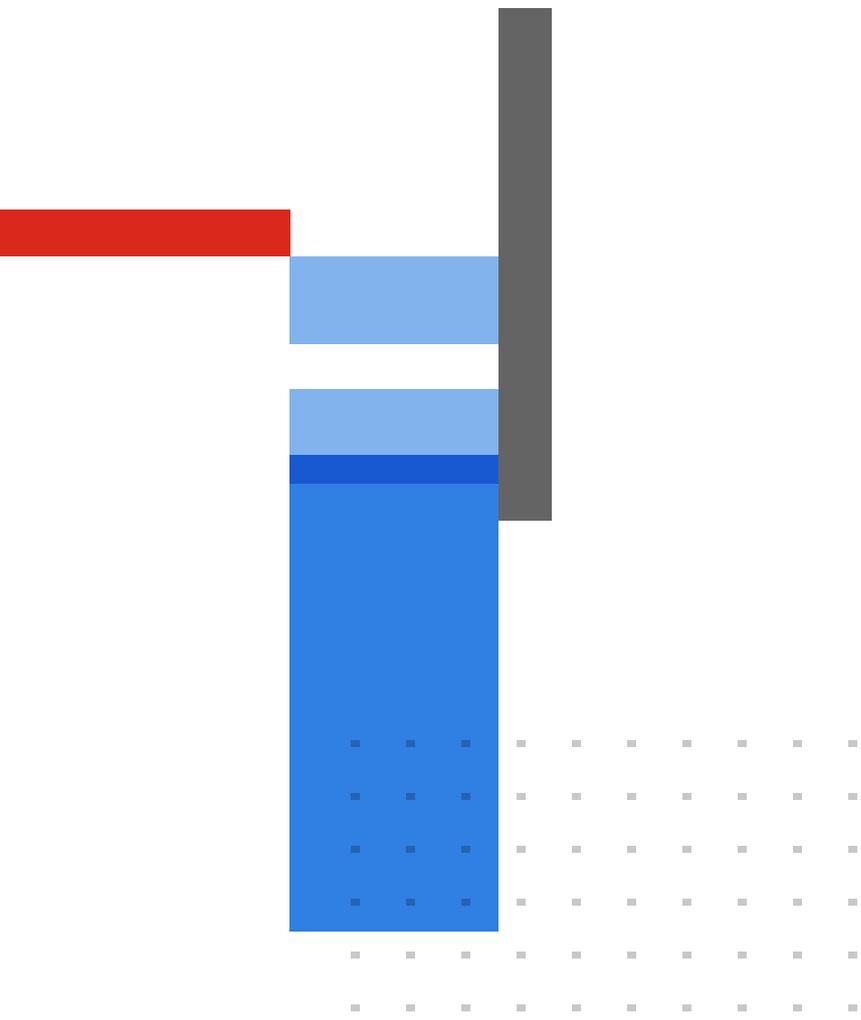
ハードウェア製品に付属する / サポートされる ADOM 数については、[docs.fortinet.com](https://docs.fortinet.com) のリリースノートをご参照ください。

FortiManager VM S シリーズには 5 ADOM が付属しており、追加購入も可能です。

## フォーティネット CSR ポリシー

フォーティネットは、サイバーセキュリティを通じてあらゆるお客様の進歩と持続可能性を推進し、人権を尊重する倫理的な方法でビジネスを遂行し、常に信頼できるデジタル世界を実現することをお約束します。お客様には、フォーティネットの製品およびサービスを使用して、違法な検閲、監視、拘留、または過剰な武力行使などの人権の侵害または乱用に関与したり、何らかの形で支援したりしないことをフォーティネットに表明し、保証していただくことになります。フォーティネット製品の利用にあたっては、[フォーティネットの EULA \(エンドユーザー使用許諾契約\)](#) を遵守し、EULA に違反すると疑われる場合は、[フォーティネット不正告発規定](#)に概要が記載されている手順で報告する必要があります。





**FORTINET**

フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9 階

[www.fortinet.com/jp/contact](http://www.fortinet.com/jp/contact)

お問い合わせ